

講座 テーマ	子どもたちの成長・発達への多角的アプローチ	担当者	二宮球美、李玄玉 (九州看護福祉大学)	
<p>講座の到達目標及びテーマ： 講座の到達目標及びテーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 子どもたちの標準的成長・発達を正しく理解する。 生活習慣やその他の環境要因がこどもの成長・発達にどのように影響を与えるかを知り環境の重要性を理解する。 (二宮) 気になる子どもおよび発達障害を持つ子どもの行動特徴を理解する。 子どもたちが示す問題行動への適切な対応・指導を具体的に考える。 (李) 				
<p>講座の概要：</p> <p>最近、教育現場では、気になる子どもたちおよび発達障害児に対する適切な対応や指導の問題で悩んでいる教員が増加している。一方学校としての取り組みで、事例検討などが行われている現状で教員が何をなさねばならないか、またそれでよいのかの疑問を抱えたまま教育を行っている現状にある。</p> <p>したがって本講習では、子どもたちの成長・発達を、標準的成長・発達を理解することにより、成長・発達の偏りに関連する要因を知り、教育者としてこどもおよびその家族への関わりとして、どのような支援ができるかを具体的に考える。さらに介入の必要な子どもに対しての判断基準や連携を紹介する。 (二宮)</p> <p>さらに、気になる子どもたちの行動特徴を理解し、その子に合わせた適応及び指導方法を考える。特に、事例を通してより具体的な支援を考える。(李)</p>				
形態	講義、グループ討議			
テキスト	当日資料を配布する	試験方法	筆記試験	
<p>評価：</p> <p>担当教員2名による各約30分の筆記試験を行う。</p>				
<p>講座受講希望者への事前連絡：</p> <p>成長発達についてどのようなことが影響するのか、器質的、環境的要因を理解することを前提として、教員として何ができるか協働・役割分担を考える機会となるように、体験を振り返っていただくとわかりやすいと思います。</p>				